|  |
| --- |
| 【科目名】**対象と理解** |
| 【期　別】前期（4～8月） | 【区　分】必修 | 【種　別】講義 |
| 【単位・コマ数】2単位・15コマ | 【時間数】22.5 | 　 |
| 【主任教員】○金子 みどり（8）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○は成績評価者 |
| 【分担教員】○長倉 寿子（5）　○豊田 正博（2）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○は成績評価者 |
| 【授業のねらい】園芸療法による支援対象者の症状・病理・心理を理解する |
| 【担当教員】　　　　　 | 【授業予定】 |
| 金子 みどり寮： 4/17（火）1-5限寮： 4/20（金）3-5限通： 7/28（土）3-5限通： 8/18（土）1-5限 | ①支援対象者のこころの健康と病理について～疾患による心理や疾患がもたらす生活状況による心理～・うつ状態　・高齢者　・身体障がい者（先天性事例：脳性まひ、後天性事例）・高次脳機能障がい者　・精神障がい者（うつ、統合失調症型別、アルコール依存症）②生活機能評価　ICFの視点による評価・アセスメントについて理解する（寮のみ）　③アセスメントツール（検査表）について　FAST、MMSE、HDS-R、DBD、QOL-D、STAI、POMS、ストレスチェック④模擬症例（ICFをもとにしたMCI高齢者，軽度認知症高齢者，中等度認知症高齢者の特徴）を通してICFを用いた対象者理解の手順を体験し、生活機能と背景因子のつながりから園芸療法士の支援について遂行できるようになる。 |
| 豊田 正博寮：4/20（金）1-2限通：7/28（土）1-2限 | ①支援対象者のこころの健康と病理について～疾患による心理や疾患がもたらす生活状況による心理～・知的障がい者（軽度，中度，重度の違い 合併症など）・発達障がい（ADHD，LD，自閉，アスペルガー等） |
| 長倉 寿子寮・通合同8/4（土）1-5限 | 1. 障害とリハビリテーション
* リハビリテーションの理念を理解し、対象を述べることができる
* リハビリテーションの諸段階やライフステージにおける障害特性について理解する
* ICFと高齢者・身体障がい者・精神障がい者・知的障がい者・発達障がい者
1. 生活機能評価
* ICFの視点による評価・アセスメントについて理解する
* 生活モデルによる評価・アプローチについて解する
1. 生活機能向上に対する実践
* 活動・参加に対する視点と目標設定について理解する
* 地域包括ケアシステムにおける他職種協働・連携について理解する
* 主体性を引き出す支援について考える
 |
| 【参考図書】 |
| 金子 みどり：豊田 正博：長倉 寿子： | ・ICF国際生活機能分類：世界保健機構（WHO）、中央法規、3780円（税込）・LITALICO（りたりこ）発達ナビ　発達障害に関する情報サイト「事例で学ぶ生活行為向上マネジメント」（医歯薬出版）・ICF；厚労省ホームページ・ICFコアセット 臨床実践のためのマニュアル―CD-ROM付（医歯薬出版）・患者力を引き出す作業療法―認知行動療法の応用による身体領域（三輪書店） |
| 【予習課題】 |
| 金子 みどり：長倉 寿子： | 1回目授業までに「ICF国際生活機能分類」のP3～P18を読む。地域包括ケアシステムの構築についての事前学習をお願いします。 |
| 【成績評価の方法】 |
| 金子 みどり： | 出席状況、レポート内容 |
| 長倉 寿子： | 授業での取り組み、講義終了後の課題提出で判断する。 |
| 【受講生への希望】 |
| 長倉 寿子： | 実習における課題があれば、整理しておいてください。 |